

皮膚・排泄ケア認定看護師 創傷管理関連特定行為教育課程修了

中央病院 看護事務室 特任看護師

小野寺 直子 さん

Q 資格取得のきっかけを教えてください

私が就職した頃はまだ認定看護師制度はありませんでしたので、認定看護師を目指すというよりは、「ストーマ造設患者さんのケアについてもっと深く勉強して、お役に立てるようになりたい」という思いが最初にありました。その後ストーマケアに携わっていく中で、目標となる皮膚・排泄ケア認定看護師の存在があり、具体的に目指そうと考えることができました。

Q 取得までの流れはどうか

実は、研修学校受験前に病気がみつかり、そのまま病休に入ってしまうというアクシデントがありましたが、復帰後にまたチャレンジできる機会を頂きました。受験前は、皮膚・排泄ケア分野に関連する学会や研修会に参加し自己研鑽を積む日々でした。ストーマケアを中心に関わっていたので、創傷(褥瘡)ケアなど分野全体の勉強ができるように心がけていました。

Q 研修中の様子を教えてください

研修中は、同じ目標をもった全国の仲間と一緒に学ぶことができ、たくさんの刺激ももらい、励ましあいながら取り組むことができ楽しかったです。毎日の講義やGW・試験・実習等は、もちろん楽ではなかったです。何よりも自分のできない部分・弱い部分を正面から見つめなおす機会でもありました。共に頑張れた同期はもちろんですが、支えてくれた職場の皆様への感謝の気持ちも大きかったです。

Q 資格取得後の院内での活動を教えてください

専従の皮膚・排泄ケア認定看護師で褥瘡管理者の役割を頂いております。褥瘡対策委員会・NST 委員会の活動、看護外来(ストーマ・創傷等)、院内外からの相談を受けながら、患者さんのケアを行なっています。また、創傷関連特定行為研修受講後は、特定行為(創傷デブリードマン・陰圧閉鎖療法)を各診療科の医師と連携しながら実践しています。

Q これから資格取得を目指す方へのアドバイスをお願いします

認定看護師教育の再構築で、特定行為研修もカリキュラムに入ってきており、今後ますます教育体制等は多岐に渡っていくと思います。思いが揺らいだり、目標を見失ってしまう瞬間もあるかもしれませんが、自分の看護観・目指す看護師像を再確認しながら、前に進んでいってほしいと思います。

Q 一日のタイムスケジュールを教えてください

曜日によってかなり違いますが、朝は患者さんの情報をカルテで確認し、ラウンドする優先順位を決めたり、外来予約や処置の時間調整をします。午前中は、ラウンド・外来・病棟処置等です。午後も同じですが、回診や会議・研修などが入ってきます。相談はその都度院内 PHS で対応して伺いますので、「神出鬼没」と言われることもあります…。

Q 最後に一言お願いします

忙しい毎日だとは思いますが、自分のしたい看護・目指していることは何かなあと考える時間をつくって欲しいと思います。それをまわりの仲間と話せるようにして実現してほしいです。一緒に頑張っていきましょう！

皮膚・排泄ケア認定看護師

磐井病院 看護科 主任看護師 ※宮古病院への応援勤務中


 小野寺 喜代 さん
Q 資格を取得しようと思ったきっかけを教えてください。

泌尿器科病棟で尿路ストーマケアに携わり、管理が難しい状況の患者さんと接する中でもっと専門的な知識を身につけたいと思ったのがきっかけです。漏れないように祈りながら装具を貼っていたのを覚えています。積極的に勉強会に参加していた私に病棟師長が情報提供してくれました。

Q 研修中の様子を教えてください。

北は北海道から南は九州まで、様々な地域の仲間と研修を受けました。試験やレポートに追われる毎日で大変でしたが、その時苦楽を共に分かち合った同期の仲間は一生の宝物です。10年たったいまでも同期の間で情報共有しています。

Q 現在の勤務状況について教えてください。

専従の皮膚・排泄ケア認定看護師、褥瘡管理者として活動しており、現在は本務地から離れた病院で応援勤務を行っています。朝、カルテから患者情報を収集したあと、各病棟をラウンドし、担当看護師と患者情報を共有し、創傷・ストーマ・排泄分野の処置時間を検討します。困ったときは電話連絡してもらい、一緒にケアを実践しています。外来では毎週水曜日にストーマ外来を実施しています。皮膚トラブルや褥瘡のある患者さんの対応についても相談を受けています。

Q 資格を活かして病院で働くうえで大事にしていることは何ですか。

「スタッフが気持ちよく働けるようにサポートすること」が役割と考えています。スタッフ一人一人が患者さんの気持ちに寄り添えるように、自分のスキルを活かしサポートすることを心がけています。お互いが「Win-Win」の関係になることを目指しています。

Q ご自身のワーク・ライフ・バランス維持のため、何か行っていることはありますか。

劇団活動時の一コマ
(左下:小野寺さん)

高校生のころ演劇部に所属しており、その関係で19歳で劇団の旗揚げをし、20年以上活動していました。盛岡だけでなく、東京・仙台で公演を行ったこともあります。現在は活動休止していますが、おばあさんになってまたお芝居できるといいね、とみんなで話しています。いろんな職種の仲間と共に一つの作品を作り上げることは職場では味わえない経験です。当時のブログで「生きてるなかで今一番つらい」と何年かおきに書いている自分がいて、後から見ると笑えます。でも、つらいから楽しいことも沢山あり、それが自分の生活を支えていたと感じています。本当に素敵な思い出ばかりです。

Q これから資格取得を目指す方へアドバイスをお願いします。

忙しい毎日の中でも何か目標を見つけることでモチベーションが上がることもあります。少しでも興味があったり、やりたいことがあれば、興味のある専門、認定看護師などに相談してみるといいと思います。